



2018年度 評価

① WWFジャパン チェックリスト評価

確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。

自己評価

※調査対象は、ミサワホームの木材調達指針と同じく、木質系工業化住宅の構造体のみです。
※年間木材使用量：142,750m³/年、年間使用原木量：285,501m³/年

仕入先企業における森林認証材使用の認識は定着しており、わずかながら前年の評価を上回ることができました。さらなるレベルアップに向けて、特に国産の非認証材に関する精査を進めるとともに、取引先と連携を取りながら次期目標に取り組んで参ります。

チェックリスト評価	樹種	国名	使用比率 (%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合板	ダグラスファー	カナダ	14.81	71.1	B
	カラマツ	ロシア	11.25	64.1	B
	クルイン	インドネシア	1.04	100.0	S
	カラマツ	日本	1.13	66.6	B
	セラヤ	マレーシア	0.61	63.9	B
	スギ	日本	0.84	65.9	B
	ヒノキ	日本	0.28	76.9	B
	カロフィラム	バブアニューギニア	0.31	63.9	B
	計		30.28		
芯材・構造用集成材	スプルース	フィンランド	37.14	73.2	B
	ホワイトウッド	フィンランド	9.81	66.7	B
		ドイツ	2.76	74.6	B
		スウェーデン	1.02	69.6	B
	トドマツ	日本	7.86	61.3	B
	ベイヒバ	カナダ	0.38	63.1	B
計		58.96			
LVL	ポプラ	中国	3.88	64.9	B
	カラマツ	ロシア	2.78	56.0	C
	スギ	日本	3.14	38.1	D
	カラマツ	日本	0.22	51.0	C
	計		10.01		
工場調達材	ホワイトウッド	フィンランド	0.74	67.2	B
	計		0.74		
総合計			100	68.3	B

② WWFジャパンのコメント

ミサワホームの木材調達に関する2018年度評価は、WWFジャパンの「森と人をつなげる“チェックリスト”」による評価で68.3点（B評価）となりました。2017年度比で0.1ポイント向上しています。評価値は微増ですが、取り組みに質的な変化があったことが伺えます。これまで相対的に得点の高かった木材の使用比率が天候要因等で減少しているにも関わらず、国産材をはじめとして情報の把握を進め、認証材の比率も上げた結果、全体では得点を下げることなく、総合評価を維持しています。

ミサワホームの木材調達は、トレーサビリティを確立し、時には自ら森林の現場まで足を運び確認するといった王道を長年歩まれてきました。本取り組みを継続する中で、社会的にはSDGsなどの概念が浸透する変化に適切に対応してきた歴史でもあります。今後も、森林という適切に利用すれば持続可能な資源を使用するビジネスを通じて、社会の様々な要請にこたえていかれることを期待しています。